



しんまち遊ロード沿いに並んで交通安全を呼び掛ける関係者

夕暮れ時・夜間に反射材を着用を
■年末の交通安全県民運動

12月15日から31日までの17日間、年末の交通安全県民運動が実施されました。

前日14日にはしんまち遊ロード沿いで、関係団体約10団体80人が早めのライト点灯と自発光式反射材の着用を呼び掛ける「ピカッと作戦！」の街頭広報を実施しました。19日には、川崎幼稚園園児ら約150人による交通安全パレードが行われたほか、22日に吉田町学習ホールで「榛南一市一町住民安全大会」が開催され、多くの人々やさまざまな団体が交通安全についての意識を高めました。

勢いよくペタン!

■餅つき会/相良幼稚園

相良幼稚園の園児134人は12月14日、同園で餅つき会を開きました。

保護者の畑で育てたもち米を使って、毎年行っている年末の恒例行事。園児らは、きねと石臼を用いて自分たちで餅をつく昔ながらの風習に悪戦苦闘しながらも、「よいしょ」と掛け声を合わせて、重たい杵を力いっぱい振り下ろしていました。

つきたての餅は、その場であん餅やきな粉餅にされ、「柔らかい」「おいしい」と園児は笑顔で頬張っていました。



保護者役員の協力の下、きねと石臼で餅つきをする園児

科学の面白さを堪能

■まきのはらサイエンス・ショー

まきのはらサイエンス・ショーが12月22日、い〜らで開催されました。

財団法人山崎こども教育振興財団が、子どもたちに科学に対する興味や関心を持ってもらおうと行ったもの。講師はサイエンスプロデューサー米村でんじろう氏の一番弟子であるチャーリー西村氏が務め、「空気砲実験」や「声変わりハウス実験」、「風船まきまき実験」などの観客参加型の数々の実験に、約400人の観客は歓声を上げ、科学の面白さを体験していました。



ヘリウムガスが充満したビニールの中で声に変化する実験



大会前に市長を訪問し、活躍を誓う選手たち

全国大会で伸び伸びとプレー

■市代表チームがbjリーグジュニアバスケットボール大会に出場

市内の中学生による選抜チーム「牧之原シリウス」が、12月26日から28日にかけて草薙体育館で行われた「bjリーグジュニアバスケットボール大会決勝大会」に出場しました。

同大会が今回静岡県で開催されることから、昨年全国大会で準優勝した、市内のスポーツ少年団「シリウスクラブ」の活躍などにより、本市が主催者から推薦を受けて出場したものです。結果は16チーム中13位。慣れない選抜チームでの参加でしたが、選手らは伸び伸びとプレーをしていました。



絵や文字を貼って物語を表現するパネルシアターを披露

郷土の偉人を分かりやすく表現

■鈴木梅太郎博士伝記パネルシアター完成披露会

読み聞かせボランティア「おはなしパレット」による鈴木梅太郎博士伝記パネルシアター完成披露会が12月9日、博士のお墓がある見寺（堀野新田）で開かれました。

オリザニン（ビタミンB1）を発見した郷土の偉人を子どもたちにもっと分かりやすく知ってもらい、広く社会に伝えていこうと、同団体が作画した絵に同地区出身の童話作家である草谷桂子さんの脚本を加えたもの。

「12月13日のビタミンの日はどんな日?」「博士の出身地は?」などのクイズを取り入れ、博士の生涯を描いた作品に集まった約80人の人たちは、郷土の偉人の功績を楽しみながらあらためて学びました。

大好物のおやつは郷土食

■芋切り干しづくり/地頭方幼稚園

地頭方幼稚園の5歳児13人は12月5日、新庄の佐藤繁さん宅で芋切り干しづくりを体験しました。

郷土食を残そうと佐藤さんが数年前から行っているもので、園児が6月に佐藤さんの畑に植え付け10月に収穫したさつまいも「ベニアズマ」約20kgを使用。あらかじめ蒸した芋を竹へらを使って皮をむいた後、甘い香りが漂う中、細い針金を張った道具で薄く切り、一枚一枚並べて干しました。

園児は「甘くておいしそう。早く食べたい」と3日後の完成を心待ちにしていました。



切った芋を一枚一枚並べて干す園児



細江小で登校時の津波を想定し校舎屋上に避難する児童

地域ごとに「共助」の連携を強化

■地域防災訓練

地域防災訓練が12月2日の「地域防災の日」に、市内各地の自主防災組織で実施されました。

南海トラフ巨大地震などに備えるために開催され、18,831人の市民が参加。中高生らも多く参加し地域ごとの「共助」による連携強化が図られ、津波避難訓練や避難所設営訓練などが行われました。

細江小の全校児童474人は登校中に巨大地震が発生したとの想定で、津波警報発生を知らせるサイレンが鳴り響くと、登校班ごとに学校や近くの高台などに急いで避難しました。

広報担当がどこにも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎ (23) 0052 ✉ seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

